

科目名	情報処理演習	JABEE科目	科目コード 423
-----	--------	---------	--------------

学年・学科等名	4 学年	物質化学工学科	必修科目
単位数・開講期	1 単位	前期	
総時間数	45 時間	演習 30 + 自学自習 15	
担当教員	千葉 誠		

本校の教育目標	2	物質化学工学科の教育目標	4
---------	---	--------------	---

JABEE関連	教育プログラム科目区分	103一般基礎科目情報技術系
	教育プログラムの学習・教育目標	A-1(100%)
	JABEE基準	c

教科書名	使用しない
補助教材	プリント
参考書	Microsoft Visual Basic に関する書籍

A. 教育目標

Visual Basic による基礎的な化学問題の処理を通して、プログラム言語によって問題を処理する際
の考え方を身につける。

B. 概要

現在、広く用いられている「Visual Basic」によるプログラミングを通し、プログラム言語の概要、およ
びプログラム作成の基礎を学ぶ。

C. 学習上の留意点

単にコンピュータの操作をこなすだけに終始せず、解決しようとしている問題の内容とコンピュータ操
作を関連づけて理解するようつねに心がけること。なお、データのバックアップおよび授業時間外の学
習のために、各自フロッピーディスク等の記憶媒体を用意し、必要なファイルを保存しておくことが望ま
しい。また、定期試験時の成績がふるわなかった学生に対する再試験は行わないので十分気をつける
こと。

D. 評価方法

試験(50%)、レポート・課題・小テスト等(50%)にて評価する。

E. 授業内容

授業項目	時間	内 容・到達目標	教 育 プログラム
1. ガイダンス	2	授業の予定、進め方、評価方法について説明	A-1
2. ベーシック、ビジュアルベー シックの概要	2	ベーシック、ビジュアルベーシックの概要を 理解する。	
3. 簡単なプログラムの改正	10	簡単なプログラムを理解し、必要に応じて修 正・改良することができる。	
(後期中間試験)	2		
4. ビジュアルベーシックを用い た課題の処理	6	ビジュアルベーシックを用い、課題に応じた 簡単なプログラムを組み上げることができる。	A-1
5. 問題処理(化学・物理・数学 等)への応用 ・二次方程式 など	8	実際に化学・物理・数学等の問題を処理する ためのプログラムを作成し、完成させる。	
(学年末試験)			
◆ 自学自習 演習課題	15	自学自習時間として、授業時に与えた課題プログラ ム作成の時間として15時間と考えている。	A-1

F. 関連科目

情報処理(3年次)、情報処理演習(専攻科)、化学情報工学(専攻科)